

経頭蓋磁気刺激法（TMS）アプローチ

《TMSとは?》

- ◆TMSとはコイルに発生させた磁気エネルギーを頭部に照射し、大脳皮質内に微細誘導電流刺激を与える治療法です。
- ◆TMSは、脳卒中後遺症に対し、すでに傷を負った脳組織を復活させることではなく、健常な脳組織の神経活動性を促進して、大脳のもつ神経症状を補う能力を最大限に発揮させる（間接的に病巣側の脳を活性化させる）ことが目的です。
- ◆磁気刺激は脳大脳皮質の神経細胞の興奮性を変化させる作用があり、大脳に起因する精神・神経疾患への治療効果が期待されています。
- ◆欧米諸国では、最新のうつ病治療法としてすでに臨床応用されており、その他脳梗塞や統合失調症、パーキンソン病等の治療にも世界中で試されています。
- ◆現在、保険適応ではありません。

《期待される効果》

- ◎ TMSは非侵襲的な治療です。
- ◎ 薬剤が使えない方や薬剤効果が薄い方、症状の長期化・再発を繰り返す方への効果が期待されます。
- ◎ カウンセリング、認知行動療法などの精神療法との併用により、更に高い治療効果が期待されます。



《予想される副作用》

TMSによる重篤な副作用の発生率は0.1%未満とされています。副作用として報告されるものには、痙攣発作（0.1%未満）、失神（頻度不明）、頭皮痛・刺激痛、顔面の不快感（30%前後）、頭痛・頸部痛・肩こり（10%前後）があります。

《r TMS治療の適応基準》

- r TMS治療は以下の基準をすべて満たしておられる方が適応となります。
- 1. 癲癇または癲癇性発作の既往がない方。
- 2. ペースメーカーや人口内耳（補聴器）、頭蓋内クリップ等の金属製医療機器・電子機器が体内に埋め込まれていない方。
- 3. 妊娠中や授乳中ではない方。
- 4. 重篤な身体疾患に罹患していない方。
- 5. その他、医師が適当と認めた方

※詳しくは病院スタッフまでお問合せ下さい。

2022年11月 大隈病院